玉川上水・野の花だより　No. ４８

カヤ（カヤノキ）*Torreya nucifera*

東京大学名誉教授　　中央大学研究開発機構・機構客員教授

石川　幹子　　2026 年　10 月 21 日



とても、うれしいお知らせです。野の花ではありませんが、大山緑道の「カヤノキ」が息を吹き返しました。今回の緑道整備で植栽されたのですが、南側の日当たりを良くしていただき、見違えるように元気になりました。

古くから里山にある針葉樹で、20m 以上の高木となります。写真にある小さな実はやがて熟します。昔の人々は、この実を煎り、食料としてきました。

大正 11 年（1922 年）につくられた『かやの木山』は、作詞が北原白秋、作曲が山田耕作で、今日まで歌い継がれています。

かやの木山のかやの実は いつかこぼれて　ひろわれて
山家のお婆さは　ゐろり端　　粗朶（そだ）たき　柴たき　燈つけ
かやの実　かやの実　それ爆（は）ぜた
今夜も雨だろ　もう寝よよ お猿が啼くだで　早よお　眠よ



カヤノキ　2026 年 10 月 20 日撮影　大山緑道

山里の風景は、思い浮かべることもできなくなりましたが、大都会で、すくすくとカヤノキが育ち、歌の翼に乗せて、時を超え懐かしい世界を訪れることが、できるかもしれません。

写真（赤マル）が、カヤノキです。